

(社) 日本精神科病院協会

1. 学会の会員構成等

1,214名(病院)(平成19年2月末現在)

- (1)一般の精神科医 約1万人
 - (2)子どもの心の診療を定期的に行っている小児科医・精神科医 数百人
 - (3)子どもの心の診療に専門的に携わる医師 数十人
- ※会員病院に属する医師数のため、移動も多く詳細不明。
常勤のみで約1万人とした。
また、専門にしている医師についても、おおよその人数となっている。

2. 対象疾患領域等

- ・こどもの心の発達に及ぼすテレビ視聴、テレビゲームなどの影響
- ・十代の喫煙
- ・飲酒の問題
- ・虐待問題
- ・広範性発達障害
- ・思春期に発症した精神障害

3. これまでの取り組み

- ・厚生労働省補助金事業として3日間の研修をおこなっている
「こころの健康づくり対策」思春期精神保健対策専門研修会
平成15年度の年間受講者：163人
平成16年度の年間受講者：122人
平成17年度の年間受講者：89人
※以上は医師のみの数字である。

この他、コメディカルコースを併設しており

平成15年度 364名
平成16年度 217名
平成17年度 300名

4. 平成18年度の取り組み

- ・厚生労働省補助金事業として
「こころの健康づくり対策」思春期精神保健対策専門研修会
平成18年度の年間受講者医師数：89人
内訳
思春期精神保健対策専門医師コース：46人
医師アドバンスコース(新設)：43人

この他、コメディカルコースには299人が受講した。

さらに平成18年度は「こころの健康づくり対策事業」思春期精神保健・PTSD
合同シンポジウムを開催した
参加者：159人

内訳

医師：65人

コメディカル：94人

5. 今後の取り組み

平成18年度の厚生労働省補助金事業「こころの健康づくり対策」の計画としては、以下の通りであった

○思春期精神保健対策研修会

・医師コース

- 1) 基礎コース（東京） 100名
- 2) アドバンスコース（東京） 50名

・コメディカルコース

- 基礎コース（東京） 200名
- （大阪） 200名

・PTSD対策専門研修会

- 基礎コース（東京） 250～300名
- アドバンスコース（東京） 50名

平成19年度以降の内容については、平成19年3月末までに厚生労働省の関係各位と相談の上、協会外委員を含めた企画委員会により決定する

平成19年度では、本検討会との整合性を考えた上で、若干のメニューの変更を考えている